

平成25(2013)年度

私たちの村の予算

～ 村民との協働のむらづくりを目指して ～



佐井村

平成25年度は、こんな事業を進めます

(平成25年度の新規事業)

1. 共同受信施設地上デジタル放送導入事業
2. 西目屋村連携交流事業（アンテナショップの開設）※
3. 下北北部地区中山間地域総合整備事業
4. 佐井村共通商品券発行事業
5. 西目屋村・佐井村児童交流事業※
6. 佐井小学校改修事業

※佐井村・西目屋村連携協定

西目屋村との連携協定により教育、文化、産業など幅広い分野での交流事業をはじめ、地元産品の販売促進や災害時の相互支援体制などを、先に連携協定を締結している青森公立大学の学術的ノウハウなどを活用して、一層の連携強化を図り、両村の地域振興を進めます。

【 重点戦略プロジェクト：「あおい環」経済戦略ビジョン 】

1. あおい環プロジェクト事業（ゆるキャラ、地域おこし協力隊関連など）
2. 佐井村「新しい販路」開拓事業
3. 北前船彩紀行「北の夢海道・佐井湊」事業

(平成24年度から繰越した事業)

1. 佐井地区（佐井漁場）水産生産基盤整備事業（並型魚礁設置工事）
2. 橋梁長寿命化事業
3. 側溝整備事業

データで見る佐井村の予算

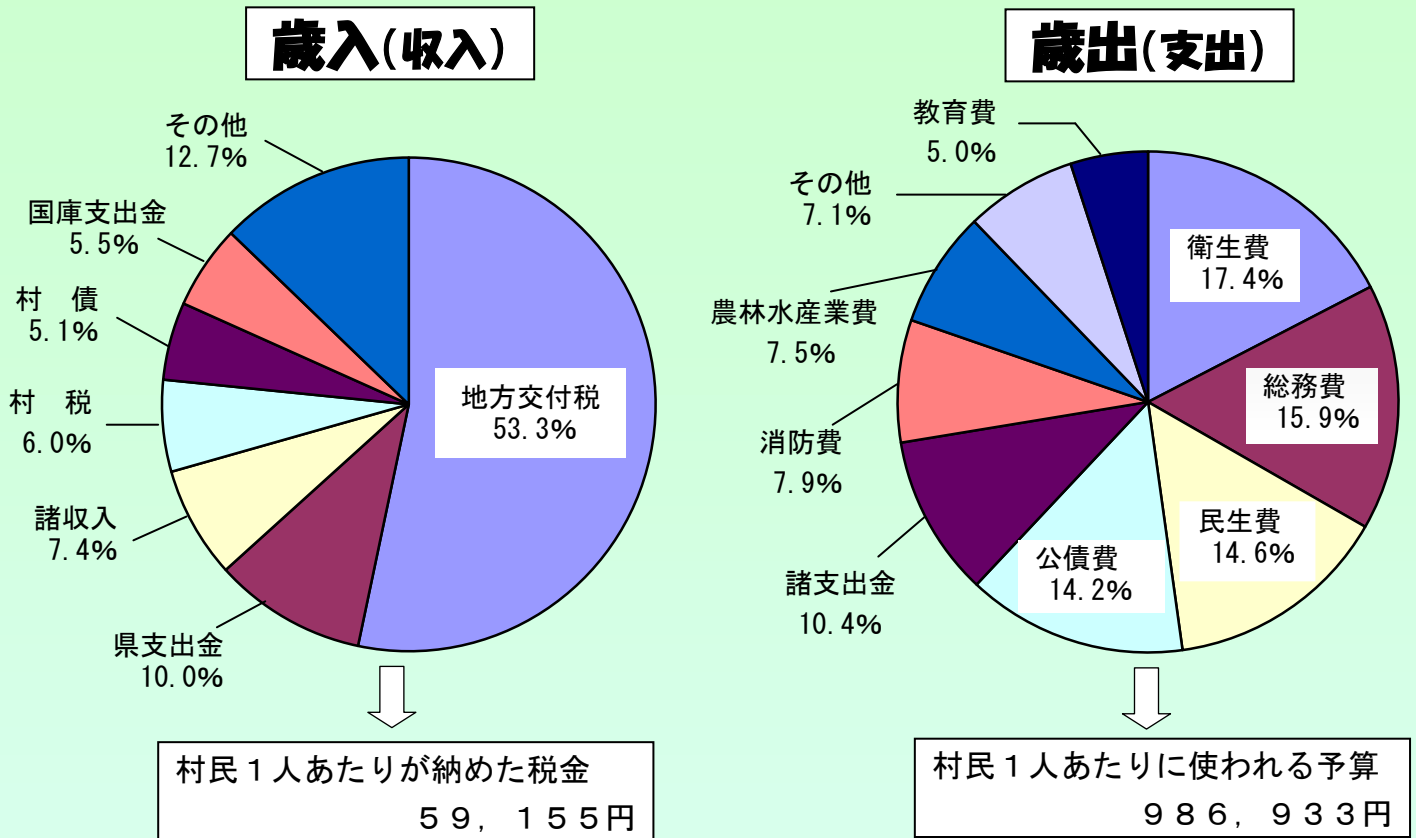
平成25年度の予算総額は、

34億753万8千円 です。

区 分		平成25年度予算額	平成24年度予算額	増 減 額
一 般 会 計		23億7,456万円	23億3,602万5千円	3,853万5千円
特 別 会 計	簡易水道事業	7,359万6千円	7,416万円	△56万4千円
	下水道事業	1億8,543万1千円	1億7,280万2千円	1,262万9千円
	国民健康保険	4億5,328万1千円	4億4,020万7千円	1,307万4千円
	介護保険	2億9,689万9千円	2億6,562万5千円	3,127万4千円
	後期高齢者医療	2,377万1千円	2,323万4千円	53万7千円
合 計		34億753万8千円	33億1,205万3千円	9,548万5千円

一般会計

一般会計は、村の予算の中心となるもので、福祉、教育、道路、漁港の整備などのお金は、この財布から出し入れしています。

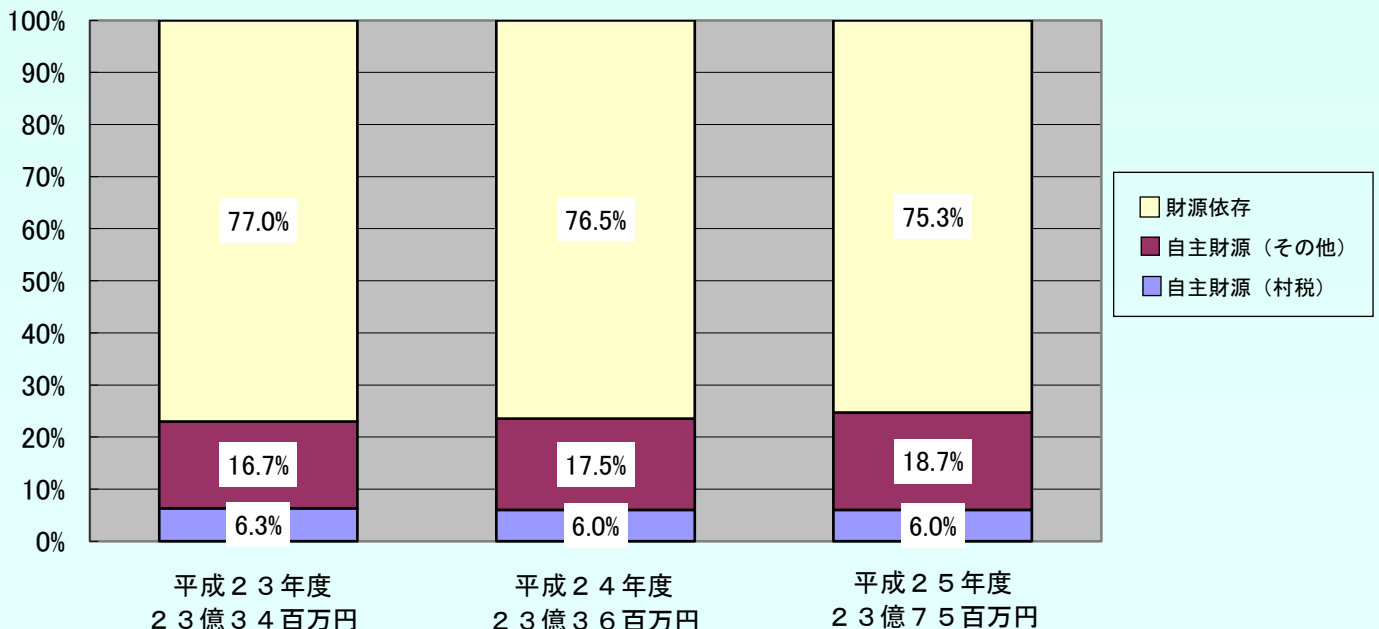


※平成25年3月1日現在の住基人口(2,406人)で算出

◇自主財源と依存財源

村の歳入(=収入)のより所を財源といい、このうち税金のように村が自分で集めるものを自主財源、国や県からもらう補助金などを依存財源といいます。

自主財源の割合が高ければ、それだけ自主的、安定的に事業が進められますが、人口が減少傾向にあり、大きな企業がない当村にとっては、自主財源の確保が課題となっています。



特別会計

村には、一般会計のほかに、特別会計があります。

特別会計は、決まった仕事について、財布を別にしてお金の出し入れをはっきりさせるもので、次の5つの特別会計があります。

簡易水道事業特別会計

7, 359万6千円

住民の日常生活に欠くことのできない水道について、4地区（佐井、長後、福浦、牛滝）の簡易水道施設の適正な維持管理を行い、安定した飲料水の供給に努めていきます。

歳入

水道使用料等	4, 395万1千円
一般会計からの繰入金	2, 964万5千円

歳出

施設の維持管理費等	2, 534万1千円
借入金の返済（公債費）	4, 805万5千円
その他	20万円

業務の予定量

給水戸数 ……………	1, 165戸
年間総配水量 ……………	31万5, 049m ³
1m ³ の水の給水に要した経費（給水原価）…	344. 54円
1m ³ の水の供給に要した経費（供給単価）…	187. 71円



下水道事業特別会計

1億8, 543万1千円

生活雑排水などの河川、海などへの流入による水質悪化を防ぎ、衛生的な住環境、水洗化による清潔で快適な生活スタイルを進め、美しく豊かな自然を守り、潤いのある快適な生活を創造するため、下水道施設の維持管理（5施設）に努めていきます。

歳入

下水道使用料等	1, 195万4千円
一般会計からの繰入金	1億1, 057万6千円
借入金（村債）	6, 290万円
その他	1千円

歳出

施設の維持管理費等	4, 752万1千円
借入金の返済（公債費）	1億3, 751万円
その他	40万円

加入状況（平成25年2月末現在）

- 牛滝地区漁業集落排水処理事業
 - 平成9年供用開始 加入率 86%
- 福浦地区漁業集落排水処理事業
 - 平成13年供用開始 加入率 85%
- 長後地区漁業集落排水処理事業
 - 平成14年供用開始 加入率 52%
- 磯谷地区漁業集落排水処理事業
 - 平成17年供用開始 加入率 47%
- 佐井地区特定環境保全公共下水道事業
 - 平成21年供用開始 加入率 23%

【 下水道接続(加入)のお願い 】

下水道は浄化した水を放流するため、海や川の自然環境を守るとともに、側溝や水路などを衛生的に維持できることから、下水道の接続および汲み取り便所の改造による水洗化を、すみやかに実施されるようお願いいたします。

水洗便所改修に係る補助として、平成25～29年度まで下水道接続補助金（1件につき5万円）を新設しましたので、ご活用ください。

国民健康保険特別会計

4億5,328万1千円

病気やケガのときに必要な保険給付などを通して、みなさんの健康を支える制度です。

歳入	
国民健康保険税	9,638万5千円
県や国からの補助	1億9,578万5千円
高額医療費共同事業交付金	5,435万8千円
前期高齢者交付金	7,811万4千円
一般会計からの繰入金	2,841万8千円
その他	22万1千円



歳出	
保険給付費	2億9,377万3千円
後期高齢者支援金等	5,401万円
保健事業費	582万円
介護納付金	3,029万3千円
共同事業拠出金	5,806万7千円
その他	1,131万8千円

介護保険特別会計

2億9,689万9千円

40歳以上の方が被保険者となって保険料を納め、介護が必要となったときには、介護予防サービスや介護サービスを利用できるように保険給付などを行うものです。

歳入		歳出	
保険料	3,654万6千円	保険給付費	2億8,410万8千円
国や県からの補助	1億1,793万8千円	地域支援事業費	375万3千円
支払基金交付金	8,251万7千円	その他	903万8千円
一般会計などからの繰入金	5,863万8千円		
その他	126万円		

後期高齢者医療特別会計

2,377万1千円

高齢化にともなう医療費の増大が見込まれる中で、高齢者世代と若年世代の負担の明確化などを図る観点から、75歳以上の高齢者などを対象とした医療制度です。

歳入		歳出	
保険料	1,187万4千円	広域連合納付金	
一般会計からの繰入金	1,143万4千円	その他	2,252万3千円
その他	46万3千円		1,24万8千円



議会費 4, 938万円
(うち人件費: 4, 767万円)

【平成23年度決算額】
5, 334万円



- 議会だよりの発行 27万円
- 村議会議員(8人)への報酬・手当など 3, 311万円
夜間議会や、「さい議会だよりの発行を行います。

総務費 3億7, 707万円
(うち人件費: 1億5, 719万円)

【平成23年度決算額】 9億2, 077万円
防災無線子局設備改修事業 2, 629万円
原田・矢越地区センター改修事業 2, 516万円 など

村有財産の管理

- 各地区集会施設の指定管理委託 164万円
- 国道拡幅に伴う防災無線子局設備移設工事 186万円

むらづくり基本条例関連事業

- 住民提案型支援事業補助金 200万円

企画関連事業の推進

- あおい環プロジェクト事業 1, 001万円
弁天わかめオーナー制度や、平成24年度に誕生したゆるキャラ「雲丹〜うんたん〜」や、地域おこし協力隊の採用により地域の活性化を図ります。



- 佐井村「新しい販路」開拓事業 630万円
平成24年度において特産品開発事業により開発された商品の付加価値を高めるため、東京都内デパートでの販売を行います。
- 北前船彩紀行「北の夢海道・佐井湊」事業 808万円
被災地巡りのため青森港を出航する北前船が寄港するため、神楽や山車の運行などによる歓迎レセプションを行います。
- 西目屋村連携交流事業 100万円
東京都内でのアンテナショップ開設により地元商品の販売促進を行います。

交通対策

補助金名	交付先	補助額
佐井管内生活路線維持費補助金	下北交通(株)	55万円
福祉・過疎地有償運送事業運営費補助金	佐井村社会福祉協議会	296万円

広報広聴活動の推進

- 広報「さい」の発行 87万円

コミュニティー活動の推進

交付先	補助額
行政連絡員及び補助員	156万円
地区会・町内会	139万円

地域情報通信関連事業

- 地域情報通信(ICT)の活用、維持・管理 998万円
光ファイバ網を活用した告知端末および小型画像情報端末機の利活用の検討や、維持管理を行います。
- 共同受信施設地上デジタル放送導入事業 1, 272万円
地上デジタル放送の一部難視聴区域である糠森地区において共同受信アンテナを整備するための事業費です。

村税の徴収率の向上

- 納税組合に対する報償金 101万円
- 納税貯蓄組合連合会運営補助金 20万円
村税の徴収率向上のため、各納税組合の徴収額などに応じて、報償金の支払を行います。また、納税に関する理解の醸成および、会の活動経費に対する補助を行います。

個人納付のほか、納税組合や口座振替を利用して納期内納付に努めましょう。

選挙事業

- 819万円
- 佐井村長選挙、参議院議員選挙が予定されています。

民生費

3億4,542万円
(うち人件費:5,717万円)

施設の管理運営

- 社会福祉法人が行う事業 1,512万円
法人運営のための事務的な経費を補助します。
- 高齢者生活福祉センター委託 1,058万円
指定管理者制度の導入により「あすなろ」の管理運営を社会福祉協議会へ委託しています。

高齢者への福祉

- ほのぼのコミュニティ21推進事業 552万円
ほのぼの交流グループや民生委員と連携して、高齢者世帯の訪問などを行います。
- 見守りシステムネットワーク事業 116万円
各家庭に設置されている小型画像端末の応答機能を活用して、高齢者の見守りや支援を行います。

障がい者への福祉

- 障がい者の自立支援介護給付費など 5,235万円

【平成23年度決算額】 3億7,030万円
保育所運営事業 4,721万円
障害者の施設支援 3,602万円 など

青少年・児童への福祉

- ひとり親家庭等への医療費助成 143万円
- 児童手当の支給 2,433万円



○佐井村保育所運営事業 3,868万円

佐井村保育所防火豆まき

街路灯管理事業

- 防犯灯(街灯)改修工事 460万円
平成24年度に引き続き、通学路を中心に、防犯灯(街灯)をLED防犯灯に改修します。

衛生費

4億1,322万円
(うち人件費:4,264万円)

保健対策の充実

- 患者輸送事業 1,059万円
大間病院および、川内病院までの交通手段を確保するため、患者送迎バスの運行委託を行います。
- 各種予防接種の実施 899万円
- 医師招へい事業 10万円
- 各種健各種健(検)診事業 889万円
各種がん検診の無料化により、検診を受けやすい体制を整え、住民の健康増進に努めます。

健康審査の料金は、保険者ごとに異なりますので、加入している保険者にお問い合わせください。



子育て支援対策の強化

事業名	給付額
乳幼児はつらつ育成事業	339万円
児童・生徒医療費給付事業	536万円

【平成23年度決算額】 5億1,095万円
患者輸送事業(コミュニティーバス) 1,040万円
各種予防接種事業 943万円 など

環境保全・環境衛生への取り組み

- 佐井村斎場の運営 604万円
佐井村斎場の維持運営を指定管理者に委託します。
- 合併処理浄化槽設置整備事業 60万円



ごみ・し尿の収集処理

- 環境保全美の推進事業 266万円
ごみの分別収集による指定ごみ袋の製作、販売店への取扱委託料を行います。
- ごみ収集・処理事業 1億819万円
一般ごみの収集運搬や共同で設置している塵芥処理施設の運営負担に要する費用です。
- 不燃物処理施設の管理運営事業 751万円
不燃物処理施設の適正な管理を行います。
- し尿処理事業 3,629万円
共同で設置している汚泥再処理センターの運営負担に要する経費です。

農林水産業費 1億7,865万円

(うち人件費：2,624万円)

農業の振興

○原田集落中山間地域等直接支払交付金 101万円

○中山間地域総合整備事業 355万円
下北北部地区にまたがる広域的な地域を対象とした整備事業に取り組むための、現地調査に要する経費です。

林業の振興

○フォーレストパーク管理事業 425万円

○有害鳥獣対策 1,543万円

農作物の被害防止のために、鳥獣被害対策実施隊やモンキー犬を活用して、サルの追払いや電気柵の設置を行います。また、ニホンザル保護管理専門員を育成します。



農作物に被害を及ぼすサルの群

【平成23年度決算額】 2億3,348万円

水産振興基金事業補助 3,102万円
有害鳥獣対策 2,203万円 など

○森林環境保全整備事業 758万円
造林補助金を活用して、分収造林の整備を図るほか、平成24年度の人工造林の下刈り作業を行います。

○森林整備活動支援交付金事業 201万円
森林の有する多面的機能が十分発揮されるよう、森林計画に基づき、計画の認定を受けた森林所有者が行う森林整備地域計画を支援します。

畜産の振興

○畜産導入事業 82万円

○公共牧場管理委託 87万円

水産基盤の整備

○並型魚礁設置工事 2,650万円

○漁港施設機能強化事業 2,000万円
福浦漁港防波堤及び岸壁の検証調査を行います。

○牛滝漁港整備負担金 2,402万円
県の事業費2億3,200万円と、牛滝漁港沖防波堤耐震診断負担金820万円の1割負担分です。

水産業の振興

○水産振興事業補助金 3,055万円
佐井村漁協が行う水産振興計画に基づく、各種水産振興事業に対して補助を行います。

商工費 3,727万円

(うち人件費：736万円)

商工業の振興

○商工会育成補助金 240万円



主に人件費補助に要する費用と、夏まつりイベント(花火大会)の補助金です。

○共通商品券発行事業費補助金 150万円

商工会が発行する商品券を、村内での買い物の際に使用することができます。1,000円と500円の商品券があり、購入することにより1,100円、550円分の買い物をすることができます。

【平成23年度決算額】 3,823万円

東北新幹線全線開業活用効果事業 472万円
観光リーフレット、ポスター作成 131万円 など

観光の振興

○観光案内業務委託料 229万円
観光案内業務を佐井村観光協会へ委託します。

○福浦地区公衆トイレ屋根等改修工事 93万円

○願掛公園管理運営事業 295万円

○防波堤壁画事業 37万円

○福浦の歌舞伎上演 30万円
旅行会社のバスツアーなどを活用し、村内外の多くの方が観覧できるような上演を目指します。

○東北新幹線全線開業効果活用事業 346万円

岩の名前や由来などを表記した、仏ヶ浦散策マップを作成するほか、県外で佐井村の観光番組を放映したり、福浦地区の観光資源整備を行い、誘客を図ります。

労働費

1万円

【平成23年度決算額】

1万円

○むつ市下北地区雇用対策協議会負担金が含まれています。



土木費

7,517万円

(うち人件費：1,768万円)

【平成23年度決算額】

9,620万円

除排雪対策事業 794万円
 仏ヶ浦港湾改修事業負担金 625万円 など

急傾斜地対策

○磯谷区域急傾斜地対策事業負担金 160万円

○矢越区域急傾斜地対策事業負担金 200万円

磯谷地区および、矢越地区の急傾斜地対策工事を実施します。

港湾の整備

○仏ヶ浦港湾改修事業 625万円

港湾改修事業として防波堤の整備が進められており、県事業費5,000万円の12.5%負担に要する費用です。

道路・橋梁の管理・整備

○道路維持管理業務 156万円

村道の維持補修並びに併用林道の維持補修を行い、道路の維持管理に努めます。

○除排雪対策 534万円



○福浦川目線整備事業 76万円

○仏ヶ浦駐車帯管理業務 44万円

○橋梁長寿命化改修事業 4,316万円

現在使用している橋梁補修費のコスト縮減と、橋梁の延命化を図るため、改修工事を実施します。

消防費

1億8,712万円

消防への負担金

○広域事務組合常備消防へ 1億6,355万円

市町村共同で行っている消防分署の費用負担です。負担金には、職員の人件費が含まれています。

○広域事務組合非常備消防へ 1,970万円

佐井村内の消防団のための費用を負担します。

災害対策

○地域防災計画書の作成 50万円

地震や津波などの災害対策として、現状にあった避難計画を策定し、計画書を作成します。

【平成23年度決算額】

1億771万円

広域事務組合負担金(消防分署・消防団) 1億53万円
 避難所の防災体制強化 3,099万円 など

○防災対策 257万円

防災訓練の経費や、各地区集会所や避難所などに配備した備品などの維持管理費を行います。



消防施設の整備

○消火栓の更新

80万円

災害に備えて避難経路や、避難場所の確認をしておきましょう。



教育費

1億1,815万円

(うち人件費:5,347万円)

学校教育・学校施設の充実

○外国語指導助手(ALT)の配置 291万円

小学校高学年および中学生の英語力向上のために、ALTを配置します。

○学習支援推進事業 281万円

村で講師を雇用し、きめ細かく質の高い学習指導により、個性豊かな人材形成と学力の定着を図ります。



○学校支援推進事業 37万円

学習支援や校外学習の補助、登下校時の安全指導などを行います。

○西目屋村・佐井村児童交流事業 42万円

今年度は西目屋村の児童が来村し、小学5年生を対象に宿泊体験などの交流事業を行います。

○佐井小学校改修事業 520万円

校舎および体育館は建築後23年経過し、外壁の経年による劣化や塩害などによる腐食のため、改修に向けた設計を行います。

○各種大会派遣費の助成 82万円

小中学生の各種大会参加派遣費へ助成を行います。

【平成23年度決算額】 1億3,432万円

奨学金貸付事業 524万円
外国語指導助手(ALT)配置事業 438万円 など

○奨学金の貸付 706万円

就学に係る経費の軽減を図るため、奨学金の貸付を行います。現在の貸付金の原資は、これまでの奨学生の返還金によって賄われています。

社会教育の充実

○海峡ミュージアム・三上剛太郎生家運営事業 198万円

○放課後子どもプラン事業 157万円



放課後に小学校の空教室を活用し、地域住民の協力の下、放課後子ども教室を開設し、子どもたちと一緒に勉強やスポーツなどの交流活動を行います。

公民館活動の充実

○公民館活動業務 84万円

各種地区公民館活動や、婦人会活動のほか成人式を開催します。

社会体育の振興

○スポーツ団体への補助 152万円
体育協会などへの補助金です。

諸支出金

2億4,699万円

下北医療センター支出金

○佐井診療所の不良債務解消 4,000万円

平成19年度までの不良債務約2億3千万円の解消に継続して努めており、平成23年度末の不良債務は8,650万円となっています。

○下北医療センターへの貸付金 8,000万円

下北医療センターおよび、佐井地区診療所の資金繰り経費の一部の貸付に要する経費です。



佐井中学校での歯科指導

佐井村の台所事情 ～ 県内40市町村中のテータ・ランキング(平成23年度) ～

村の台所事情をあらわす「財政指標」には、様々なものがありますが、代表的で比較的わかりやすいものを示しました。順位は県内の40市町村のうちで、佐井村がどの位置にあるかという目安を示したもので、優劣を比較するものではありません。

H24年度順位	市町村名	指数	H23年度順位
1	六ヶ所村	1.556	1
2	東通村	0.994	2
3	八戸市	0.650	3
4	青森市	0.532	4
5	三沢市	0.462	6
37	新郷村	0.126	37
38	佐井村	0.107	38
39	風間浦村	0.101	39
40	西目屋村	0.097	40
平均		0.334	

財政力指数 0.107 (38位/40市町村)

通常確保できると考えられる収入

標準的な仕事をするのに必要と見込まれる支出(過去3年間の平均)

村のふところぐあいを表すもので「1」を超える場合には、国からの援助(普通交付税といい、国の税金の一部を収入が不足する自治体に割り振るものです)がなくなります。また、数字が大きいほど余裕があることとなります。

H24年度順位	市町村名	指数	H23年度順位
1	六ヶ所村	6.3	1
2	野辺地町	8.9	2
3	横浜町	9.2	3
26	南部町	15.7	29
27	佐井村	15.8	24
28	つがる市	16.3	27
38	田舎館村	21.0	38
39	鱒ヶ沢町	23.9	39
40	黒石市	24.5	40
平均		15.7	

実質公債費比率 15.8 (27位/40市町村)

一般会計と特別会計などの公債費
(毎年返済しなければならない借入金の元金と利子)

経標準財政規模から普通交付税の需要額に
算入された元利償還金を差し引いた額

村の借金の返済額の財政負担の度合いを示すもので、率の低い方が財政負担が低いこととなります。この比率が18%未満の自治体は起債の発行に関し協議団体として自由に発行できるのに対し、18%以上の自治体は許可団体として県の許可が必要となります。また、25%を超えると原則として起債の発行が制限されます。

H24年度順位	市町村名	指数	H23年度順位
1	平内町	74.6	2
2	六ヶ所村	76.5	1
3	東通村	80.7	6
20	おいらせ町	87.7	16
21	佐井村	87.9	15
22	八戸市	88.8	21
38	五所川原市	97.9	37
39	むつ市	98.0	38
40	今別町	99.8	11
平均		88.5	

経常収支比率 87.9 (21位/40市町村)

経常的経費(毎年欠かさず必要となる支出)

経常一般財源(使い道が限定されていない毎年繰り返し入ってくるもの) + 減税補てん債及び臨時財政対策債

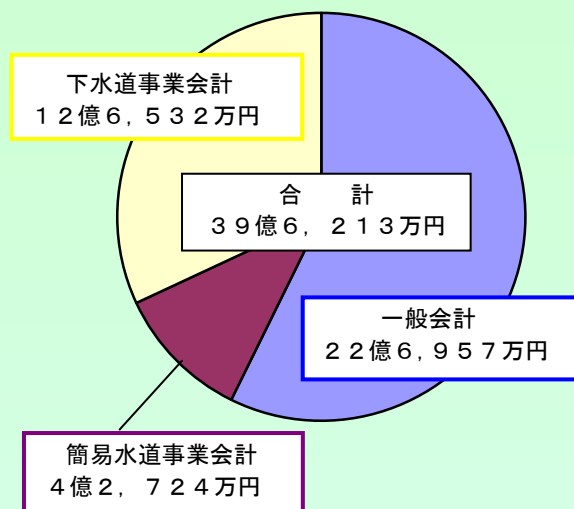
人件費や公債費、扶助費(福祉施設の入所に伴う費用など)など、毎年必要になる支出で、容易に切り詰めることが難しいものの割合のことです。指数が低い方がそれだけ余裕があり、新たなサービスをはじめたり、臨時の出費に対応できるということとなります。

佐井村の借金状況は？

平成24年度末の見込みで、一般会計をはじめすべての会計を合わせて約40億円の借入れがあります。村民1人あたりでは約165万円になります。借入れの内訳は右図のとおりですが、実際は、これに利子を加えた金額を分割払い（10～30年間）で、返済していくことになります。

公共施設や下水道施設のように、建設にたくさんの費用がかかり、しかも、何十年も利用されるものは、もし借金をしないとすれば、当座の資金繰りが難しいだけでなく、建設する時代に生活している村民だけが大きな負担をすることになってしまいます。そこで、一般の住宅ローンと同じように借入れを利用し、毎年少しずつ返済していくことによって、将来にわたってその施設を利用する村民の負担を分かち合うようにしています。

借入金の内訳
(平成24年度末見込み)



貯金の状況は？

平成24年度末の見込みで、約12億9千万円の貯金がありますが、このうち大半を占めるのが水産振興基金の約6億円で、この基金は原則として元金の取り崩しができないものとなっています。財源の不均衡を調整できる財政調整基金は平成16年度より年々増加しつつありましたが、村税や地方交付税などの歳入の減少に歯止めがかからず、財政調整基金や、村債管理基金を取り崩して収支の均衡を図らなければならない状況にあります。

貯金の内訳 (平成24年度末の見込み)	
貯金の種類	金額
財政調整基金	2億8,227万円
村債管理基金	2億1,700万円
水産振興基金	6億19万円
その他の基金	1億9,114万円
計	12億9,060万円

— 平成25年度予算の特徴 —

佐井村の重点戦略プロジェクトである「あおい環」経済戦略ビジョンに基づき、今年度から採用となる地域おこし協力隊（首都圏などの人材の流入により、地域の活性化を図るものです。）や、ゆるキャラの活用、さらには北前船（みちのく丸）の招へい事業により、一層の地域の活性化を図ります。平成24年度に開発された佐井村の特産品の販路拡大事業を展開するほか、連携協定を締結した西目屋村と共同で都内にアンテナショップを開設し、特産品の販売や観光PRなどの情報発信を行います。

新たな景気対策の一環として、村内での消費拡大と、地域経済の回復・活性化を促進するために、購入金額の1割増のプレミアム付商品券を発行します。

建設事業では、佐井小学校改修事業や漁港施設強化事業が計画されているほか、昨年度に引き続き並型魚礁設置事業や、橋梁長寿命化改修事業を進めます。

以上が主な施策となっていますが、歳入の大半を占める地方交付税は減少傾向にあり、さらには、消防活動費や保育所運営費などに充当してきた約1億3,000万円の「電源立地地域対策交付金」の交付が、今年度で終了となることから、事業の見直しや施策調整などにより、行財政改革の意識を明確に念頭に置き、これまで以上に財政健全化に努めていく必要があります。



佐井小学校6年生脱穀体験